

# 障害のある人もない人も 誰もが安心して生活できる社会をつくるために

ここにヒントがあります

## 視覚障害者と健常者が力を合わせてプレーする ブラインドサッカー

◀◀ さいたま市ノーマライゼーションカップ ▶▶  
ブラインドサッカー国際親善試合



女子日本代表

対

IBSA世界選抜

国際視覚障害者スポーツ連盟

日時 2月23日(土) 10時30分～16時  
(14時キックオフ)

会場 サイデン化学アリーナ(桜区道場)

※会場へは、公共交通機関をご利用ください。

※室内履きを持参してください。

### “声かけ”が大切なスポーツ

ブラインドサッカーでは、フィールドプレイヤーはアイマスクを着用して何も見えない状態で、転がると音が鳴るボールを追います。的確にプレーするために必要なのが、目の見えるガイドやゴールキーパーらによる“声かけ”のサポートです。



### 会場で体験してみよう!

アイマスクを着用してボールを蹴ってみて、周囲の声かけの大切さを実感してみてください。



オリンピック・パラリンピックのPR  
ブースやボッチャの競技体験など  
もあります。

## “声かけの大切さ” それはあなたの身近なところでも

ブラインドサッカーは、周囲からの的確な声かけがあってはじめて、視覚障害者の選手が実力を発揮できるスポーツです。

皆さんも街なかで、視覚に障害のある方が困っているところを目にするかもしれません。



## 気づいたらまずは声をかけて

社会には他にもさまざまな障害がある方がいて、いろいろな困りごとを抱えています。困っているような方を見かけたら、声をかけ、その人に合わせた配慮や必要な手伝いをしてください。その一声が、誰もが安心して生活できる社会をつくる一歩となります。



### 対応する際のポイント

- 相手の立場に立って、わかりやすい対応を心がける
- 困っている場面をみかけたら、どんな手伝いが必要か試してみる
- コミュニケーションがとりづらい場合でも「ゆっくり」と「ていねい」に対応する



さいたま市は、ノーマライゼーション条例をつくり、障害のある人もない人も誰もが安心して生活することができる街づくりを進めています。

ノーマライゼーション条例PRキャラクター  
ノーマくん



### ヘルプマーク

外見からわからなくても援助や配慮を必要としていることを、周囲の方に知らせるマークです。

このマークを見かけたら、電車・バスなどで席をゆずるなど、思いやりのある行動をお願いします。



2人は市内で活動するブラインドサッカーチーム「埼玉T.wings」でも一緒にプレーしている。

## ブラインドサッカー 女子日本代表

きくしま そら  
**菊島 宙**さん (左)

おおさく まちこ  
**大作 眞智子**さん (右)

ブラインドサッカーの魅力、普段の生活での困りごとや心がけていることを伺いました。

菊島 宙さん



持ち味であるドリブルからのシュートを見にきてほしい

### 「見えていなくてもサッカーができることが楽しい」

私は生まれつき目が見えにくいので、中学のクラブチームで夜間にサッカーをしたとき、ボールが見えずに反応できませんでした。でもブラインドサッカーは見えていなくてもサッカーができるのでとても楽しいです。試合で観客の皆さんが自分のプレーを観て楽しんでもらえたら嬉しいです。

### 「街なかで皆さんの声かけがあると助かります」

駅で時刻表が見えにくかったり、人が多いところでは動きづらかったりします。そんなときに声をかけて案内してくれるととても助かります。視覚障害者が一番困るのは一人で歩いているときです。戸惑っていると思ったら声をかけてください。皆さんの声かけに助けられますし、事故が減ると思います。

### 「それぞれの選手に合わせて情報を伝えています」

キーパーはフィールドでただ一人、目が見える選手です。試合中、刻一刻と状況が変わるなかで、指示を伝えなければなりません。選手によって情報の受け取り方が違うので、選手に合わせて伝え方やタイミングなどを変えています。ブラインドサッカーはアイマスクをつけることで、視覚に障害のある方もない方も同じ条件で一緒にプレーできるところが魅力です。

### 「大切なことはコミュニケーション」

県の障害者関連の施設に勤めているのですが、障害があるからと変に気をつかうのではなく、初対面の方と接するように声をかけるといいと思います。その人の困っていることが何なのか、コミュニケーションをとりながら見つけてください。

大作 眞智子さん



目が見えなくてもこんなにもサッカーができることを実際に見てもらいたい

さいたま市と日本ブラインドサッカー協会の目指す社会が重なりあうことから、ノーマライゼーションカップとして、国際親善試合を毎年開催しており、今年で7回目となります。

#### さいたま市

障害のある人もない人も誰もが安心して生活できる社会（ノーマライゼーション社会）の実現



#### 日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーを通じて、視覚障害者と健常者が当たり前に混ざり合う社会の実現

詳しくは、障害政策課（☎829・1306、FAX 829・1981）へ。